

ワークスの思想を詰め込んだ グノシスの最新作に迫る

リポート 中三川大地 | D.Nakamigawa

グノシスにおけるFMB01の最新デザインとして採用されたGノシスデザインが最大の特長。ややラウンドしているディスク形状や、段が付けたメッシュ開口部、ピアスボルトの存在感など、テイラーと彫りに凝らしている。ディスクセンターは彫りを深くしたデューブロン形状となる。

多様な輸入車に対して、全身全霊をかけて挑む。ワークにおけるグノシス、ブランドはそこに存在した。そこには世界に誇れる日本人の情熱と技術がある。登場から数年、いまでは一躍ブランドとして認知されるグノシスの、最新の作品をここで紹介しよう。



FMB01



○サイズ・価格
19inch×B.0-11.0
129,600-158,760円
20inch×B.5-11.5
142,200-171,360円
○カラー・イベント
プラットフォーム/ブラックメタリック
○対応車種: BMW、アウディ
※. その他他国車等

GR204

2016も期を要切らない。こちらはグノシス・レポユーション (GR) における4作目として登場したGノシスモデル。欧州プレミアムカーをメーンターゲットにしたから、質感感あふれる交互ホログラムデザインを採用。そしてこれは、付加価値としての情報もある。かかにはブランドその部分のディスク形状や、ディスクセンターのメッシュ開口部形状、あるいはリフトアップしたディテールなど、彫りの精緻な結果として立体的な印象を演出している。

GR204



○サイズ・価格
18inch×B.0-11.0
81,000-115,560円
20inch×B.0-12.5
92,880-129,600円
21inch×B.0-12.5
111,240-155,320円
○カラー・イベント
プラットフォーム/ブラックメタリック
コンポジット/ブラックメタリック
○対応車種: BMW、アウディ
※. その他他国車等

そして先述のデザイン性など、その完成度は、ギリギリで、知識、という意を持たず、グノシスに投入したの。つまり、知識は自分自身から、知識、車中心に、世界へ振舞い続ける。

別としてGR204の20インチが装着されたBMW M3。第10代、第10.5代、それぞれタイヤサイズは255/35、275/30となる。欧州製ハイパフォーマンスカーを満足させる性能と、デザイン的魅力を高立させている。



グノシス FMB01 / GR204

GNOISIS

FMB01/GR204



FMB01



鍛造1ピースへの挑む
2016年からの進化
ドリスアップからホイール
ドリル、モーターボルト用など
ホイールのあらゆる種類を
二丁のすべてを擁している
FMB01は、Gノシスブランドを

鍛造1ピース製のFMB01は、シンプルな10本スポークながら随所に鍛造の質感を強調したようなエッジ処理が施される。スポークには2段階の切削が施され、シンプルながらも強靭な印象が。スポーク開口部が大きくとられているので大径キャリアーローターのマッピングも上々。ブレーキの放熱性にも優れる。

2016も期を要切らない。こちらはグノシス・レポユーション (GR) における4作目として登場したGノシスモデル。欧州プレミアムカーをメーンターゲットにしたから、質感感あふれる交互ホログラムデザインを採用。そしてこれは、付加価値としての情報もある。かかにはブランドその部分のディスク形状や、ディスクセンターのメッシュ開口部形状、あるいはリフトアップしたディテールなど、彫りの精緻な結果として立体的な印象を演出している。

鍛造1ピースといつ、世にふれる鍛造ブランドと異なり、からつたが難しいテクノロジーだ。しかし、これは、単なる後追いではなく、むしろ追いついた得意技術。かかには、活かした得意技術。かかには、活かした得意技術。かかには、活かした得意技術。

鍛造1ピースといつ、世にふれる鍛造ブランドと異なり、からつたが難しいテクノロジーだ。しかし、これは、単なる後追いではなく、むしろ追いついた得意技術。かかには、活かした得意技術。かかには、活かした得意技術。

鍛造1ピースといつ、世にふれる鍛造ブランドと異なり、からつたが難しいテクノロジーだ。しかし、これは、単なる後追いではなく、むしろ追いついた得意技術。かかには、活かした得意技術。かかには、活かした得意技術。



FMB01は性能としても世界最高級としても欧州最大メーカーからインポート。そのほかには20インチを装着。フロントはティンバーレープ (19.5)、リアは登場間もないワイドトレイブコンセプト (10.5) となる。